

総会を終えて

事務局長 井上伸也

日本包装管理士会第53回定時総会は、会員皆様のご協力により、6月26日に全議案について提案通りの内容でご承認をいただきました。ありがとうございました。

総会のご報告をすべきこの機会に、会の運営に関する近年の状況について事務局から紹介させていただきます。

一つは、議案の詳細をこの中でご紹介することは控えませんが、昨年度総会時より総会議案書はホームページ上で公開いたしております。昨年度は総会直前の公開でしたが、今年度は総会のおよそ1カ月前に告知できた結果、欠席時の委任状提出までに議案について検討していただく時間をとることが出来たと思います。僅かなことかもしれませんが、議案について検討していただいた上で総会での採決に参加していただくことに一歩前進することが出来ました。総会については、このippニュース127号紙面で概要をご報告いたしておりますのでご確認ください。また、総会議案書はこのippニュース127号が皆様のお手元に届く頃にホームページに掲載されておりますので、まだご覧いただけていない方は是非一度お目通しください。

二つ目は、定款の変更です。定款は昨年度総会で承認を受け変更実施されています。第3条「本会の目的」は次の4項目であり、

- (1) 会員は自己研鑽に努める。
- (2) 会員相互の連携を強める。
- (3) 会員同志の親睦を深める。
- (4) 会員の教養を高め、資質の向上を図る。

新しく第3項の「会員同士の親睦を深める」ことが目的の一つであると追記されました。

ホームページやメール、ツイッターなどIT手法を活用しての交流、研究会や見学会など顔を合わせての交流が親睦を深める基盤となり、自己研鑽、相互連携により資質を向上させることとなります。

会員の皆さまが言葉や文字で表現された事柄を実行していただき活動の効果を上げてください。

また、今年度は「2019包装界・10大ニュース選定」「ippニュース編集」など本部の事業に協力していただき、会の運営に参画していただける会員を増やすため、役員の増員ではなく委員会組織による活動の推進も予定しております。会員皆様の積極的な参加をお待ちいたしております。

《INDEX》

定時総会	2
支部だより	4



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.127

ipp
news

ipp news
2019年8月26日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

第53回日本包装管理士会定時総会開催される

2019年6月26日（木）、榊文昌堂貸会議室において第53回日本包装管理士会定時総会が、日本包装専士会会長 安原明世様、日本包装コンサルタント協会会長 住本充弘様、技術士包装物流会会長 野田次郎様を来賓に迎えて行われました。山田会長、道明副会長、荒牧監事の提案と出席者による活発な質疑応答が行われ、2019年度の活動方針を初めとする3件の議案はすべて採択され、無事に定時総会を終了しました。



道明誠副会長の司会で定時総会がスタート

日本包装管理士会 山田孝志会長の挨拶



開会の挨拶をする山田孝志会長

本日はご多忙のところを来賓の皆さま、会員の皆さまにご参集いただき誠にありがとうございます。また遠路の皆さんにもご協力いただき感謝申し上げます。

令和になって初めての総会です。包装タイムスに紹介されたように「包装界10大ニュース」のように継続していくことも大変重要ですが、チェンジしていくことも必要です。出来ることから少しずつチェンジしていくことが肝要と考えています。今年の総

会では見直した定款をご承認いただきました。今年は新しい定款に沿って活動した結果報告と活動計画をご審議していただきたいと思います。議案書の後ろの方についている全国の支部の活動報告を見ますと、各地域のカラーを出しながら活動している様子が伺われます。管理士会全体としては新しい活動計画について皆さんと意見交換して、その形を作っていきたいと考えております。本年度も皆さんのお知恵とご協力をお願いして総会の挨拶とさせていただきます。

定時総会の経過

第1号議案の審議

2018年度事業経過報告（会長・山田孝志氏）

会員動静は本年4月30日現在各支部合計653名です。53期の仮会員は、11名となっております。

・2018年度事業活動報告

重点課題4項目を踏まえ活動しました。

1. 会員の自己研鑽による実力アップを支援する
2. ホームページの充実を図るため、見直し・リニューアルを検討する
3. 会員の満足度向上を図るための施策を検討する
4. 関連機関との協力強化

部門としては総務、財務、広報の3つに分けて行いました。総務関連では東京パックにおいて包装4団体共同企画展に協力し確認しました。また、海外展示会視察を、関東支部主体になりますが実施しております。

財務関係では、支出方法に工夫を凝らして少ない予算の中で、何とかやったということを手簿します。代表的なこととしては今年度パソコン更新が計画外支出だったのですが、事務局費の支出の中で工夫を凝らした結果何とか予算内で処理が可能でした。広報につきましては年2回「ippニュース」が予定通り発行されました。またホームページについても更新されましてそれなりに益のあるサイトとなっております。そして最大の事業ですが、「包装界10大ニュース」につきましても多数の会員の協力により選定しまして選定結果につきましては包装技術誌ならびに包装タイムス誌にリリースして掲載されております。また国際交流としましては、去年はオーストラリア・メルボルンに行っております。

・収支決算報告（副会長・道明 誠氏）

2018年度の本部収支決算報告が行われた。

第2号議案の審議

2018年度監査報告（監事・荒牧哲氏）

会計監査は公正妥当な会計習慣に従って作成された

ことを確認しましたのでここにご報告いたします。業務監査としては、幸いなことに会員数が前年横ばいで良かったという状況なのですが、リーマンショックから大分経ち、団塊世代の退職も終わったという点で横ばいになったのだと思います。一方増える要素はまずないのでありまして、もっと言えばリーマンショックから10年近く経ったので引き続き会員数の増強をしなければいけないということを感じました。

●第1号議案、第2号議案は承認されました。

第3号議案の審議

・2019年度事業活動計画（会長・山田孝志氏）

＜重点課題＞

1. 会員の自己研鑽による実力アップを図るための支部活動を支援する
2. ホームページの充実を図るため、見直しを実施する
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 関連機関との協力強化を図る

以上の4項目です。具体的な内容としましては、総務、財務、広報の3つの部門に分けて活動します。従来の継続の内容になっておりますが、JPI包装技術誌等に掲載することや、「ippニュース」の発行、ホームページの活用も継続してやっていきます。重点課題の関連機関との協力強化ということにつきましては、現在4団体で企画して行う、セミナー、研究旅行を考えておりまして、それが実現すれば今までの東京パックや包装技術研究大会では、今より新しい企画ができるのではないかなと考えております。また、今年度からになります。以前の10大ニュースの場合は一般会員に募集した後、10大ニュース選定委員会があり、最終的に理事会で承認して公表されましたが、今後は委員会形式ではなく一般公募の後、理事会で承認、公表という形になります。会員の参加意識を高めるという意味で、委員会ではなく自ら選定委員になってもらい、イベントに参加してもらいたいと考えております。

・収支予算（案）（副会長・道明 誠氏）

2019年度の本部収支予算提案が行われた。

●第3号議案は承認されました。

以上で第53回定時総会は閉会し、懇親会に移りました。懇親会に先立ち、日本包装コンサルタント協会住本会長、技術士包装物流会 野田会長のご挨拶に続き、日本包装専士会 安原会長のご挨拶と音頭により乾杯となりました。3団体の会長さんからは、各会の近況紹介とともに、包装界の将来について、いろいろな問題や課題があるが、これからはひとつの団体では解決が難しく、包装関連4団体の協力が欠かせないという有意義なお話をいただきました。



定時総会を終了し、懇親会で乾杯！



日本包装コンサルタント協会 住本会長



技術士包装物流会 野田会長



日本包装専士会 安原会長

東北支部だより ●●●

東北支部 事務局長 斎藤 昇（13期）

令和の年号になり3ヶ月になりますが、昭和・平成では地震が多い時代でした。41年前（1978年6月12日）宮城県沖地震（M7.4）が発生、ブロック塀や石塀で28人が犠牲になりました。8.5年前は東日本大震災（2010年3月11日）がおこり大津波が発生、15,830人の方が犠牲になりました。現在も行方不明者の捜索が関係機関で行われていますが、東北3県で2,528名の方が不明となっています。

さて、東北支部の活動報告ですが

◎H31年1月16日（水）新春講演会と東北包装界新年賀詞交換会を開催

「ドローンの技術・規制・利活用の最新技術」

講師 野波健蔵氏（自律制御システム研究所代表）

講演後「東北包装界新年賀詞交換会」を開催



自律制御システム研究所代表 野波健蔵氏



挨拶するIPP東北支部長 鈴木雅彦氏



新年賀詞交歓会での乾杯

◎H31年3月15日（金）講演会開催

「ものづくりの進化と安川電機の取り組み」

講師 益富茂樹氏 安川電機東京支社次長

上記はJPI東北の主催



安川電機東京支社次長 益富茂樹氏

◎令和元年6月25日（木）講演会開催

「東北地域経済の持続的な成長に向けて」

講師 東北経済産業局 相楽希美局長



東北経済産業局 相楽希美局長

◎令和元年6月28日（金）

支部総会を仙台市内で開催。支部長挨拶の後、事務局より事業報告・会計報告・監査報告・新年度の事業計画・予算案等の提案があり、事務局案通り承認され、その後、懇親会を行い有意義な時間を過ごしました。

◎当面の行事予定（JPI東北主催IPP後援）

- 1) R1.9.19（火）見学会
デンソー福島工場・王子コンテナー福島工場
- 2) R1.11.7（木）
新包装管理士合格証書授与式、論文発表会、懇親会

中部支部だより

中部支部長 岡部 智（27期）

従来は定期総会参加者を増やすために包装資材研究例会の日程に合わせて同じ会場で開催してきましたが、今年度はIPP本部総会日より前に開催するように要請されたため、急きょ6月18日19時からの単独開催となりました。

そのため残念ながら会員の参加者が一段と少なく、委任状で決議を委任される会員がほとんどでした。2018年度は新規事業として日本パッケージングコンテストで入賞された中部支部会員企業の作品を発表いただく会を立ち上げ、多くの参加者を集めました。また2019年度は中部支部創立50周年を迎え、10月18日には記念事業を開催する予定です。そのため積立金を取り崩し特別会計として50周年記念事業の費用を予算化しました。

歴代の支部長や理事の皆様にも招待状をお送りし、多くの会員の方々とともに、楽しくお祝い出来るような企画を考えています。

凸版印刷(株)香川幸子様からは「トッパンの環境対応型パッケージの取り組み」について、王子タック(株)佐々島伸之様からは「リサイクル時に粘着力を消失する容器用粘着ラベルの開発」について、ヴェオリア・ジェネツ(株)喜田知克様には「プラスチック容器のリサイクルプラント企業から容器包装に望むこと」について、それぞれ有益なお話をいただきました。

これからの包装を考える良いヒントとなりました。



2019年度包装資材研究例会 凸版印刷様



第55回定期総会支部長挨拶



2019年度包装資材研究例会 王子タック様



2019年度定期総会風景

また6月27日には、包装資材研究例会をJPIとの共催で、参加者65名を集めて開催しました。G20の前日でしたが、海洋プラスチック問題等の解決や、SDGsの達成を目指すためにも、包装に出来る事は沢山あります。



2019年度包装資材研究例会 ヴェオリア・ジェネツ様

西日本支部だより

西日本支部 副支部長 上橋 健一（29期）

◆見学会

JPI西日本支部、日本倉庫協会との共催事業で「TOTOアクアテクノ小倉工場・工場見学会」を開催しました。

工場見学では水栓金具の製造工程（鋳造、研磨、メッキ、組立、包装）を、改善事例の紹介を交えて案内していただきました。

熟練作業の自動化、作業進捗の見える化、5Sなどの事例が参考になりました。見学後の質疑は大変活発に行われました。

- ・日時 3月8日（金）14：00～15：40
- ・見学先 TOTOアクアテクノ 本社・小倉工場
- ・参加者 28名



見学会

◆第42回日本包装管理士会西日本支部定時総会

第42回日本包装管理士会西日本支部定時総会を、2019年5月16日（木）13時00分より、西鉄イン福岡（福岡市博多区）の会議室にて開催しました。

2018年度事業報告・決算報告ならびに2019年度事業計画・予算案を審議しました。

役員は昨年度に引き続き、以下の通り、選任されました。

- ・支部長：中村 格勇
- ・副支部長：上橋 健一
（事業・広報・IPPホームページ）
- ・副支部長：森永 浩史（事業・JPI）
- ・事務局長：八田 彰
- ・理事：末松 洋亮（広報・監査）
- ・理事：藤生 廣来（渉外・交流会・主任監査）

JPI様との協力関係のもと、充実した事業企画を

目指していきます。

今年度の事業企画は以下の通り計画しております。皆様のご参加をお待ちしています。

- ・講演会：1～2回（予定）
- ・見学会：2～4社（予定）
- ・研究会：2回（予定）

◆生活・輸送包装研究会

JPI西日本支部、日本倉庫協会との共催事業で「生活・輸送包装研究会」を開催しました。質疑が活発に行なわれ、大変盛況な研究会となりました。

- ・日時 5月16日（木）14：00～16：10
- ・会場 西鉄イン福岡
- ・テーマ

（第1部）「物づくりのプロセス」

講師：イオン九州(株)

商品本部 顧問 立石 弘司様

（第2部）「HACCP制度化への備え～自主的な衛生管理のすすめ」

講師：一般財団法人日本食品分析センター

教育・研究部 部長 植田 浩之様

- ・参加者 18名



生活・輸送包装研究会

<今後の予定>

講演会「海洋プラスチック問題をめぐる国内外の動き」

- ・日時 2019年7月31日（水）13：00～14：30
- ・会場 西鉄イン福岡
- ・講師 JPI 包装技術研究所 包装材料研究室長 平田 成様

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井 幸彦 (36期)

IPP会員の皆様には、ご活躍の事とお慶び申し上げます。北海道はいよいよ夏を迎え、ビールの美味しい季節となります。

【北海道支部総会】

北海道支部の平成30年度総会を5月22日、札幌すみれホテルにて開催致しました。

平成最後の30年度決算報告及び令和元年度事業計画案を説明、了承を頂き令和最初の年度をスタート致しました。

【北海道の状況】

令和も既に3ヶ月が過ぎようとしていますが、北海道は恒例の「よさこい祭り」も終わり、過ごし易い季節となり果樹（さくらんぼ、イチゴ等）も昨年に比べかなりの収穫を迎えようとしています。但し北海道は広大な為地域によって気候が異なり、よい地域もあれば、雨が少なく野菜（ジャガイモ、玉葱）収量に影響が出ている地域もあり、又雨が少ない為トマトは収量が良いとのことで、北海道ならではの悩みかも知れません。水産は釧路、根室方面では「いわし」が豊漁とのこと、又オホーツク海地区ではホタテ漁

が最盛期を迎え、活況を呈しております。本州方面では雨による被害がかなり出ているようでIPP会員の皆様は大丈夫でしょうか。

このような状況ですが、北海道支部恒例のIPP、JPI懇親のビール会を今年も7月26日に27名参加にて行いました。日頃の仕事を忘れ、美味しいジンギスカンを食べ、ビールを浴びるほど飲んで北海道の会員が明日への活力にして頂ければと思います。



ビール会の様子

関東支部だより ●●●

「第2回 IPPコミュニ亭」を開催

関東支部 支部長 古平 篤 (25期)

人と人をつなげる企画「第2回 IPPコミュニ亭」を、2019年6月16日、日曜日に東京・板橋区で開催しました。今回は、包装管理士7名+家族が参加致しました。この企画は、包装管理士同士の情報交換を目的にBBQを行う企画ですが、前回同様、包装管理士、中小企業診断士、キャリアコンサルタント、企業の社長さんなど、36名の方が集まり、楽しい会になりました。買い物、BBQの為に火おこしから始まり、ワインやビールを飲みながらBBQを行い、いろいろな話題が飛び交い、熱気あふれた楽しい会話となり、あっという間に3時間半の時間が過ぎて行きました。

次回は包装管理士の皆さん、多数参加して下さい。とても楽しい会です。



第2回 IPPコミュニ亭

関東支部だより ●●●

第47回関東支部定時総会

関東支部 事務局

2019年6月26日、第47回日本包装管理士会関東支部定時総会が開催されました。開会に先立って、6月22日に他界された石川純之助理事に黙祷を捧げました。

議事は活発な質疑応答が交わされた後、3件の議案は全て承認されました。古平支部長からは、本年度も会員向け事業に理事全員で取り組んでまいりますと挨拶があり、続いて今年度から副支部長に就任した道明誠氏から挨拶がありました。



挨拶をする古平関東支部長

オーストラリア・メルボルン視察開催

関東支部 支部長 古平 篤（25期）

関東支部主催のオーストラリア視察が2019年3月26日～31日まで行われ、今回は8人参加しました。3月26日のカンタス航空の夜行便で10時間30分、オーストラリアのメルボルンに向かいました。メルボルンに到着後、タクシーで宿泊先のホテルに向かい、荷物を預けてトラム（路面電車・無料）で15分、AUSPACK2019の会場であるMELBOURNE CONVENTION & EXHIBITION CENTERに向かいました。非常に利便性が良い場所でした。AUSPACKはメルボルン、シドニーの交互で2年に1回行われ、約350小間と約7000人が参加する包装展で、包装資材、包装機械、食品関係など包装全般の総合展で、今年で34年の実績があります。

前回と同様にロボット関係の出展が目立ちました。日本の企業では、トヨタ、イシダ、FANAC、SMC、A&D等が出展していました。前回は台湾や中国の企業が目立ちましたが今回は両国とも出展が減っていました。展示方法は「東京パック」と類似する様子がかえりました。しかし、段ボール包装に対する仕組み・考え方に日本との違いを感じることができたのではな

いかと思っています。



AUSPACK会場にて

3月27日は会場で昼食をとった後、歩いてホテルまで戻り、市内の駅や大聖堂を見学しました。3月28日は観光バスで2時間位の所にあるグレートオーシャンロードの観光を行い、海に突き出した奇岩にシャッターを押していました。3月29日の午前中は市内観光で、夕方からは海から上がってくるペンギンを見に行きました。3月30日は、近くにあるヤラバレーのワイナリー4か所を周りながら試飲を楽しみました。最終日（3月31日）は、朝の航空機で成田空港に向かい、解散となりました。



ロボットの出展が目立った

「AUSPACK」視察報告会

関東支部 理事 福野 壽史（16期）

「AUSPACK 2019」海外視察報告会は文昌堂会議室で7月2日の18時30分より開催されました。視察参加者8名のうち5名が発表しました。初めに古平関東支部長の挨拶と発表、続いて視察メンバーの発表が行われました。AUSPACK展示会の出品内容（主にロボットを紹介）や展示方法などを動画でアピールするなど、そして開催地メルボルンの街並み、オーストラリアの特色や世界遺産などの紹介も織り込まれて発表者それぞれの持ち味を活かした報告会となったのではないかと思います。開会と閉会は道明関東副支部長の司会で進められ、予定通り20時30分に終了、解散となりました。



AUSPACK視察報告会

「スキルアップセミナー 2018 第2回」開催

関東支部 理事 櫻田 賢 (42期)

2月15日 (金)「持続可能な開発目標 (SDGs) が包装業界にもたらすもの」をテーマに、文昌堂貸会議室においてスキルアップセミナーを開催しました。

参加者は13名で、凸版印刷株式会社 製造統括本部 エコロジーセンター環境政策部部長 木下敏郎氏から食料 (飢餓防止)、教育、健康、将来のための資源に「全ての人が」「平等に」「困難を伴うことなく」「安全に」「アクセスできる」世界を2030年までに達成するという、持続可能な開発目標 (SDGs) について解説していただきました。我々が関与する包装業界においては、特に使い捨てプラスチックや海洋プラスチックごみの問題が関与し、生分解性プラスチックが代替される可能性があるとのことでした。



凸版印刷(株) 木下敏郎氏

「第6回包装研究会」を開催

関東支部 理事 大川 和康 (23期) 高橋 二郎 (24期)

3月13日 (水)、(株)文昌堂貸会議室において第6回包装研究会を開催しました。今回の研究会は第53期包装管理士講座を修了された新包装管理士3名の講師によるご発表で、ライオン(株) 中村泰士氏の「液体衣類用洗剤『トップ ハレタ』の容器設計」、第一三共エスファ(株) 渡邊蓉子氏の『後発医薬品における片頭痛治療薬 患者さん用パッケージの設計』、レンゴー(株) 長田真一郎氏の『狭小店舗向けディスプレイカートンの開発』で、いずれもフレッシュな素晴らしい研究発表でした。出席者からも、多くの質問や新管理士への激励の言葉もあり、終始和やかな雰囲気での研究会となりました。



新包装管理士 中村泰士氏 渡邊蓉子氏 長田真一郎氏

IPP写真研究会 活動報告

IPP写真研究会会長 荒牧 哲 (23期)

当研究会は写真を通じて楽しさを共有する親睦の集まりです。関東支部からの活動支援金と年会費で運営し、2019年前半は次の行事を開催しました。

2019年1月29日まで

JPIロビーに会員の年間傑作各自1点を展示。

1月25日 (金) ~ 26日 (土)

伊豆下田撮影旅行を実施。参加6名。海の幸に大満足。

2月 2日 (土)

アサヒビール23階のゲストルームで総会、小写真展兼新年会を22名の参加を得て開催。年間行事と予算、全員の役割分担を決定。おいしいビールと共に、別室に並べた各自3点の作品への講師講評を受ける。

4月13日 (土)

新緑の神奈川県立東高根森林公園で撮影会開催、参加12名。(写真掲載) 近くのうなぎ屋で懇親会。

6月 1日 (土) ~ 2日 (日)

白樺湖での信州撮影セミナーに6名で参加。主宰者の案内で周辺の滝巡り。夜は「新心象写真」の講義、普段と違った刺激を受ける。

6月 8日 (土)

日比谷図書館セミナールームで7月末の写真展に向けての作品準備会、5名参加。各自10 ~ 30点の作品候補を机に並べ、講師を交えて作品選びを実施。パブレストランにて写真談義。

今後は、7月25 (木) ~ 30 (火) に横浜山手234番館で第15回楽しい写真展を開催、来場700 ~ 1000人を予定。年内に撮影会2回、RAW撮影現像の勉強会、JPIロビーでの展示を予定しています。

研究会に参加してみたいという方はIPP事務局へメールください。



東高根森林公園で撮影会開催

関西支部だより ●●●

関西支部 細田 基則（13期）

5月22日に関西支部定時総会が開催され、昨年度の活動報告と今年度の活動計画が承認されました。本年度の支部活動は例年通りミニセミナー 4回、女性の包装研究会（W会）との合同研究会1回、見学会&セミナー 1回を開催して行きます。本誌が発行される時には既に木型メーカー大創株の見学会&セミナー（6/27）とW会との合同研究会（7/22）が終了していますが、9月と12月及び2月、3月にはミニセミナーを予定しています。一般の方も多数参加される有意義なセミナーですので、会員の皆様には関心のあるセミナーには是非ご参加して頂きたいと考えています。情報収集と交流の場としてご活用下さい。

以下2018年度後半から直近までの活動内容を紹介します。

◆見学会&セミナー 1月25日

①見学会 アスカカンパニー(株)本社工場

②セミナー「プラスチック成型工場のIoT」

講師：アスカカンパニー評価センター

前川明日香氏



セミナー風景



前川講師



集合写真

◆ミニセミナーの開催

◇第39回 2月12日

「電子レンジ調理可能なチャック付パウチの開発」

講師：(株)メイワパックス技術開発部主任

長友将洋氏

「製品の「信頼性対策」から「改良・開発」まで—
大阪技術研究所からのご紹介」

講師：大阪産業技術研究所製品信頼性研究部長

中嶋隆勝氏



長友講師



中嶋講師

◇第40回 3月12日

「フィルム付段ボール緩衝材「Showrap」の開発」

講師：(株)トーモク開発営業部セールスチーフ

早瀬美希氏

「プラスチック包装をめぐる最新情報：SDGsとプラスチック廃棄物に関して」

講師：(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス

教育情報部主任 羽馬知子氏



早瀬講師



羽馬講師



見学風景

◆2018年度／2019年度 関西支部 総会
2019年5月22日 於：大阪市立総合生涯学習センター
(大阪駅前第2ビル5F)



定時総会



見学風景



桃川支部長挨拶（左奥）



集合写真

◆見学会&セミナー 6月27日

①見学会 大創(株)本社大阪工場

②セミナー「抜型に関する基礎知識」

講師：GS事業部技術部課長 長江光史氏



大塚社長を囲んで懇親会



つつむ君

編集後記

本部、各支部の定時総会は無事終了し、2019年度がスタートしました。定時総会にご出席できなかった皆さまは、本号にあらましが掲載されていますのでご覧ください。

各企業で廃プラスチック対策が本格的に取り組まれています。定時総会の来賓の包装関連団体の会長さんのご挨拶にも、『包装界の将来について、いろいろな問題や課題があるが、これからはひとつの団体では解決が難しく、包装関連4団体の協力が欠かせない』というお言葉がありました。日本包装管理士会の役割もますます重要になってくると考えます。IPPの活動への会員皆さまのご参加をお願いいたします。

荒井拓哉 (12期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net/

■本 部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0004	札幌市中央区北一条西 2 丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市中村区名駅南 4-1-2 17 日通ビル 2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒 550-0014	大阪市西区北堀江 1-1-27 イマイビル 4 階	☎ : 090-4305-3906 (携帯・桃川) fax : 06-6606-8768
■西日本支部	〒 838-0068	福岡県朝倉市甘木 2144-11 中村包装管理士事務所内	☎ : 0946-22-3798 携帯 : 080-5263-2144

Copy & FAX 用切取線

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ

氏 名 会員番号 番 平成 年 月 日届

会 社	社 名					
	所 属					
	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					
自 宅	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					